

# from ほうかつ

令和6年10月発行

## 特集！ 檜葉町の権利擁護支援をわかりやすく！ ～ その人らしい暮らしを守る支援のご紹介～

権利擁護（けんりようご）と聞くとちょっと難しく感じますが、**高齢者や障がいのある方の個人の権利や尊厳を守り、他人から人権や財産が不当に侵害されることなく、その人らしい生活を守り支えること**を意味します。日本国憲法においても、私たち国民は生まれながらに基本的人権を持ち、個人として尊重されることが保障されています。今回は、檜葉町での権利擁護支援を深掘りし、様々な支援事業や取組みについて詳しくご紹介します！

### ◆事例から読み解く身近な権利侵害～権利擁護を知るために

個人の権利・尊厳・財産が侵害されたり不利益を受けることを権利侵害といい、権利擁護と反対の意味を表します。近年増加する消費者被害（認知症高齢者をねらった訪問販売等）や虐待等は権利侵害であり、大きな社会問題となっています。また、理解力や判断力の低下によって社会生活上の困難を抱えている状態も、その人らしい生活が保たれているとは言えません。以下の事例を通して、権利擁護の必要性を考えてみましょう。

**消費者被害**

訪問販売      リフォーム詐欺

**消費者被害の事例**

- 訪問販売を断り切れず、必要のない健康食品や貴金属を買わされた
- 家の修繕が必要だと言われ、悪徳業者から高額な工事代金を請求された

高齢者や判断能力の低下した方へのこのような不当な商法は消費者被害（＝権利侵害）にあたります。

**様々な虐待**

**虐待の種別とその事例**

- 身体的虐待：なぐる、蹴る、動かないようにしぼる
- 心理的虐待：怒鳴る、ののしる、無視する、態度で威圧する
- 介護放棄（ネグレクト）：食事・入浴・排泄の世話をしない
- 性的虐待：人前でオムツ交換や着替えを行う
- 経済的虐待：高齢者の年金や貯金を勝手に使う 等

虐待行為は家庭内だけでなく、介護施設等でも全国的に事案が増えており、社会問題にもなっています。

**セルフネグレクト（自己放任）**

**セルフネグレクト（自己放任）の事例**

- 家のなかのごみを放置したままにしている
- 失禁の放置、入浴拒否等により不衛生な状態になっている
- 必要な医療・介護サービスを受けず、健康状態や生活環境が悪化しているのを自分で放置している

セルフネグレクトとは、自分に関心が無くなった状態で、自己管理が出来ていないことを意味し、その人らしい生活が出来ているとは言えない状態にあります。

## ◆檜葉町保健福祉会館に集結！ ～権利擁護に関する相談窓口のご紹介～

私たちの事務所はすべて保健福祉会館にあります。お気軽にご相談ください。

### 双葉地方権利擁護支援センター8色



四條さん、遠藤さん

当センターは、認知症・知的障がい・精神障がい等の理由により判断能力の不十分な方が地域で安心して暮らせるように権利擁護の普及啓発を進めています。相談者の権利を「回復する、行使する、まもる」ために町役場や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、その方に必要なサービスや制度（成年後見制度等）が利用できるようにお手伝いしています。地域での出前講座にもおじゃまします。是非お声がけください！

双葉郡8町村で広域に活動しています。8町村だから「8色」なんですね！

住み慣れた地域で自分たちらしい暮らしを送るために、権利擁護は必要不可欠なものです。皆さんの目配り・気配り・心配りで、安心な生活が可能となります。

### 活動事例紹介

高齢の母親と障がいのある子の二人暮らし。母親に介護が必要となり金銭管理等が難しくなったため、町役場や地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携して、ご本人の意思を確認しながら成年後見制度の手続き支援を行いました。その後、金銭管理等の支援を受けながらご自宅での生活を続けることができています。

### 檜葉町社会福祉協議会



あんしんサポート担当 事務局 佐藤

本会では、日常生活自立支援事業（愛称：あんしんサポート）による権利擁護支援を行っています。これは、高齢や障がい等により、日常生活上の判断に不安がある方に対し、本会がご本人との契約に基づいて日常的な金銭管理や書類等（年金証書、通帳等）の預かりを行うことにより、ご本人の自立した生活を支援しています。

檜葉町社会福祉協議会であんしんサポート事業を担当しています。この事業を通して人権や権利が平等に保障され、権利が守られることを日々実感しています。あんしんサポートについてお気軽に社協事務局にご相談ください。

### 檜葉町地域包括支援センター



当センターでも、高齢者や障がいのある方が地域において尊厳ある生活を維持し、安心して日常生活を送ることができるよう「権利擁護業務」を大きな柱のひとつに位置付けています。双葉地方権利擁護支援センター8色、社協のあんしんサポート担当者をはじめ、関係機関とタッグを組みながらこれからも地域の皆さんの暮らしを応援していきます！

地域包括支援センターでも、介護保険法に基づいて権利擁護業務を行っています。

### ◆権利擁護のネットワークを広げる「檜葉町介護・福祉サービス事業所連絡会」



檜葉町では、地域課題について意見交換を行う「檜葉町介護・福祉サービス事業所連絡会」を定期開催しています。介護・福祉・医療・教育等の関係機関のほか、行政や金融機関等が集まり、認知症高齢者の見守りや障がい者・障がい児の権利擁護についても話し合わせ、檜葉町における“権利擁護のネットワークづくり”に取り組んでいます。

**高齢者・障がい者の総合相談窓口**

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156  
〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5（檜葉町保健福祉会館3F）  
Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

発行元：社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5（発行元責任者：福井光治）

地域づくりの今! **地域ミニデイでスカットボールが大人気!!**  
 ~楽しみながらできる運動です~



スカットボールとは、人工芝のマットに得点台をのせて、スタートラインからスティックでボールを打ちます。得点台の穴にボールを入れて得点を競うゲームです!

あちこちの地域ミニデイで楽しまれており、体験したみなさんからはこんなお声が聞かれています!



**—スカットボールの効果—**

**身体面:** 狙いを定めてスティックでボールを打つ動作は立位のバランスを高めます。また、腕を振る、体をひねる足で踏ん張るといった動作が全身運動に繋がります。

**認知面:** 狙ったところにボールを打つため、位置や形、間隔速度などを考えるため脳が活性化されます。

簡単にボールが入りそうですが・・・「入りそうで!入らない!」(“^ω^”)・・・ハラハラ ドキドキ のゲームです。皆さんと歓声をあげながら、いつの間にか全身の運動。ボールを打つときには、カキーンといい音が鳴り、スカットとする運動ですね。お互いに応援し合い、交流している姿は地域の密接なつながりを感じられました。



**めでた会** **民謡の奥深さにふれる**  
 ~めでた会の活動より~



めでた会の皆さんは、毎月定期的に集まって、“目出度節”を唄う活動をしています。皆さん、口を揃えて**“民謡はいいもんない”**と話します。

- \* 「民謡を教えてくれた先生を思って唄ってる。」
- \* 「民謡やって声が出るようになった。」
- \* 「楽しみができて良かった。」

と心あたたまる声もあり皆さんの民謡に対する“おもい”を感じ取ることができました。

♪ 民謡は生活の中で生まれ、口承によって唄い継がれてきたものなので楽譜もなく、皆さん身体で覚えています。

♪ 昔、習っていた時の参加者名簿や歌詞カードを現在も大切に使用されていて歴史を感じると共に、仲間との活動は生きがいにつながると感じました。

榎葉町地域包括ケアシステム **第4走者**  
**まじわる つながる 支え合う リレー**

榎葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。あおぞらこども園から榎葉小学校にバトンが繋がりました。



~榎葉町立榎葉小学校は地域とのつながりを大切にしています~  
 (令和4年4月 榎葉南小学校と榎葉北小学校が統合し榎葉小学校と改称 令和6年10月現在 児童155名)

~榎葉小学校ならではの取り組み~

- \* 少人数教育で児童一人ひとりの特性を把握しています。
- \* 小学校の敷地内に、放課後児童クラブと榎葉町地域学校協働センターがあり、安全に子どもたちを受け入れる環境が整っています。

~地域とのつながり~

- \* 4月から徒歩通学の児童が増えました!!
- 通学路では地域住民の皆さんがあたたかく **見守り 声かけ ハイタッチ**の活動をしてきています。子ども達からは「運動会を見に来てください!」とお誘いの手紙を住民に届ける活動を行いました。今後も地域活動へ参加し地域とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

~あおぞらこども園とのつながり~

- \* あおぞらこども園を卒園後、安心して小学校に入学できるよう、園児と小学生の交流を通し子ども同士の関係づくりを大切にしています。また、保護者の心配事を少しでも解決できるよう榎葉町役場こども課と連携し保護者向け相談会も行っています。

~子どもたちを育てる小学校の思い~

- \* 10年後、20年後、榎葉町を大切に思い榎葉を支えられる力や地域の人と助け合いながら...未来を切り拓いていく力を養ってほしいと思っています。子どもが抱える問題は家庭の問題でもあるので、学校だけでなく地域全体で解決できるよう榎葉町地域包括支援センターとの繋がりも深めていきたいと思っています。

~みんなのつばやき~

**センター長 江尻**

日によって視力のピントが合わないと感じる年頃ですが、心身の調子なんて良かったり悪かったりが当たり前。一喜一憂なんてしてられないゾ。

**社会福祉士 渡邊**

葉物野菜の成長と同時に青虫の成長過程も楽しむようにしています。青虫は黒から緑になるんです。

**生活支援コーディネーター 小林**

大先輩の皆さんに“目出度節”を習うのが楽しみになっています。

**看護師 馬上**

10月なのに、汗が止まらない。私に、長袖が必要になる日は来るのでしょうか...!?